

2017年9月24日（日曜）～27日（木曜）

番外編：おじさん二人・「初めての槍ヶ岳（3180m）に挑む」

その①・9月24日（日曜）～25日（月曜）

～ Report by 石井 ～

松延さんの、今年はなんとか「槍ヶ岳に登りたい」に应运て。9月22日（土曜）～28（金曜）をキープ。「槍・最優先」・「プランは色々作り・状況でフレキシブルに動く」がコンセプト。予定日に近付くと天気予報と「にらめっこ」。24日（日曜）に出かけられたのは幸運だった。



路線名	行先	運行会社	備考
6:55 勝田	勝田駅	関東バス	
7:05 松本	松本駅	関東バス	
7:15 上高地	上高地駅	関東バス	
7:25 夢野・諏訪・岡谷	夢野・諏訪・岡谷	関東バス	
7:35 牧野・白馬	牧野・白馬	関東バス	
7:45 佐久・小諸	佐久・小諸	関東バス	
7:55 松本	松本駅	関東バス	
8:05 勝田	勝田駅	関東バス	
8:15 高山・穂高	高山・穂高	関東バス	



7:00・バスタ新宿集合。さわやか信州号で上高地へ

10:00・諏訪湖 SA 到着



11:55・上高地BT着。ビジターセンター前の休憩スペースで軽いランチ（車内で食べ過ぎた）

24日（日曜）のプラン：「上高地～明神～穂高～横尾山荘・宿泊」  
行程：3時間20分 コースタイム：3時間10分 ＊散策しながら足慣らし



昼食後、河童橋を散策



明神に到着



四十数年振りに「穂高神社・奥宮」に参拝



最終日に泊まるかも知れない「嘉門次小屋」を確認



明神池にて（拝観料@300）

○「関根恵子の映画」が話題になる。若い人には分からないだろうな～・・・青春





徳澤に到着。紅葉は、まだまだこれからの様だ



定番の「ソフトクリーム」を食す。私のド・アップは自撮りの為、悪しからず

16:05・「横尾山荘」に到着。今回も満室で「湊沢組」が、かしましい（笑）  
前回の教訓を生かして「芋洗いを避け」、すぐには風呂に入らずのんびりと過ごす



17:30・夕食

○慣例の「飲み会はない」。松延さんは、槍ヶ岳登頂の「執念？」で完全自重  
仕方なく？石井は、缶ビール一本で終了。お蔭で、早目の爆睡なし。22時過ぎの就寝となりました  
これにて、24日（日曜）は終了です

25日（月曜）のプラン：「横尾山荘～槍沢～槍ヶ岳山荘・宿泊」

\*まずは、槍ヶ岳山荘に辿り着く

行程：8時間30分 コースタイム：7時間10分

\*バテない様にゆっくりペースで歩く



25日、4時30頃・起床



5:30・朝食

朝食は5時～先着順だが、今日は「槍ヶ岳山荘」に辿り着きさえすればいいので、喧騒を避けた食堂を偵察に行くと、昨夜の客の大半は早出してしまっただけで「もぬけの殻状態」だった



6:20・出立



すぐの登山道で「ミヤマオダマキ・黄花」



7:16・「一の俣」で最初の休憩。余裕？事前トレーニングの成果か！

「ゴゼンタチバナ」実生



この時間帯に、横尾から槍ヶ岳方面へ向かう人はほとんど無く、静かな山歩きだった



「二の俣」到着。手前に立派な橋が架かっており、欄干にカメラを置いて記念撮影



槍沢沿いの登山道はすこぶる快適だ（上流方向）



「ヤマハハコ」



「ヤマアジサイ」が残っていた



下流方向



本日は「快晴」。雲一つない



影を撮る・「槍挑戦」の危ない関係・・・





「頑張って!!」の看板が出て来た



7:56・槍沢ロッヂに到着。行程次第で最終日に泊まるかも知れないのでリサーチ済み



○槍沢ロッヂには「お風呂がある」  
 (入浴時間・15:00~18:00)  
 水は豊富で無料  
 お湯・お茶も無料で用意されている  
 乾燥室は広かった

予定より20分早く到着したので、しっかりと休憩をとる。行動食と水分補給だ!





8:20・出発



ロッヂの庭に「槍見の望遠鏡」がセットされている  
確かに「槍の穂先」が捉えられていた



少し行くと  
ナニッ？！  
「槍が見えるのか！！」  
と思って見上げると・・・  
右の岩峰が目に入った  
「孫槍」？

前方の梢に「槍の先端」が  
見え隠れしていた







「キオン」



「ババ平キャンプ場」到着



9:16・「大曲（2094m）」到着。小休止とする



岩に「乗越沢」とある



この辺りの沢は、岩に名前が書いてある。「赤岩沢」は、確かに赤い岩がごろごろしていた





暫く行くと、眺望が開けた

いよいよ「槍」が拝めるか、と思ったが、そうはいかなかった。まだまだ、遠いのだ



相変わらずのピーカン状態で日焼けがきつそうだ



「ナナカマドの赤」が目にも染みる

この辺りは雪解けが遅かったのか、花が残っていてくれた



「ヨツバシオガマ」



「ウサギギク」



「ハクサンフウロ」





「中ノ沢」の手前の雪渓で「外国のトレkker」のグループが休んでいた



10:20・「天狗原の分岐」に到着。左に行けば、有名な「天狗池」を経由して南岳方面に至る  
ここで早目のランチとした。ソーセージパンにカレーパンなど。コーヒーを淹れ、ゆっくりと食事をする  
松延さんは、「おにぎり派」だから、コーヒーはおやつと一緒に



登って来た道を眺める



2400m ともなれば、紅葉が目立ってきた





この字は何と読むのだろう？



登山道整備用？のスコップ



11：45・「槍さん」は、唐突にその姿を現した





「槍ヶ岳」～・・・！！！！



ガレた登山道を行くと「1500」と書かれた岩。残り「1500m」？





「播隆窟」。槍ヶ岳開祖の「播隆上人」が籠ったと伝わる。傍らには「チングルマ」の種子・綿毛



「イワツメクサ」



「カンチコウゾリナ」



「イワギキョウ」



「ウラシマツツジ」の紅葉



春と夏と秋・冬が同居しているような、不思議な場所を「500m」・「110m」と登って行った





「槍の穂先」に、取り付く人が見える所まで近付いた



14:08

「槍ヶ岳山荘」到着  
チェックインを済ませ  
登頂準備をする



「初めての槍ヶ岳」に向かう「おじさん二人」





「槍ヶ岳山頂」：0.2k・コースタイム 30 分



ご存知「登り口付近」



(写真左) 取り付きから、↑方向へ登り  
乗っ越してテラス状の鞍部に達すると  
(写真下) 右側・飛騨側に「小槍」が起立していた



待っていると、松延さんが追いついて来た



上方に最初の「梯子」が見える



梯子の取り付け付近のテラスで  
ガスが出て、あまり眺望が利かなくなって来た





15:45・「槍ヶ岳」登頂



松延さん到着



この時間帯の山頂は空いていた



祠にお賽銭を上げる





15分程山頂に滞在出来た  
降り始めた人がいたので写真を撮った  
テラスに着いたのを確認して下降する



松延さんも続く  
左側上方に少し見える梯子の先端は登り専用だ



二段目の梯子を下り、クサリの付いた岩場に掛かる。登り・下りが交差する地点だ



登頂を祝して握手  
下山途中のクサリ場で、難渋されていた  
ご夫婦の記念撮影をしてあげたので  
我々も撮って貰った







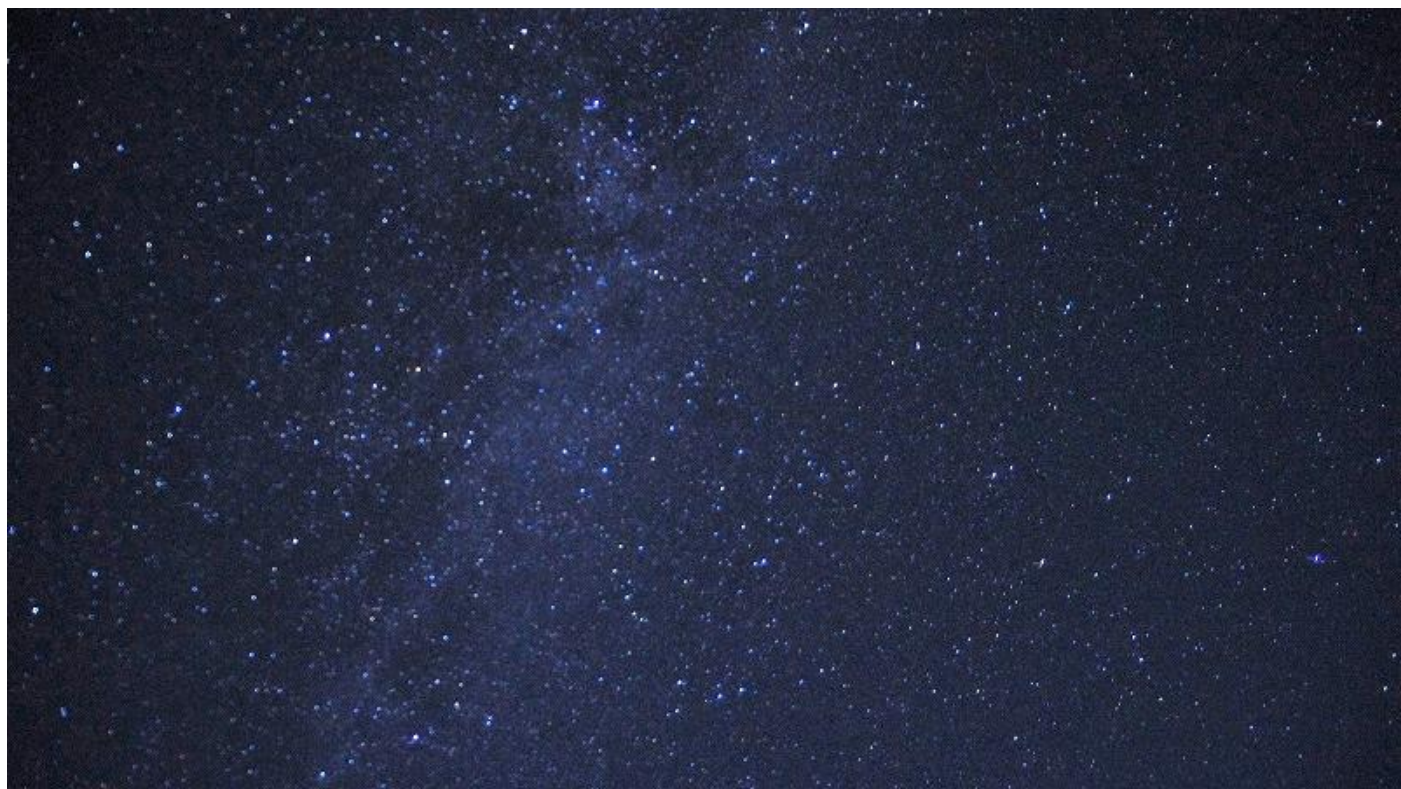
下山後、テラスにて



17:00・ディナーは「ハンバーグ」



17:39・夕焼け



「宙には満天の星と天の川」